

高知の農業の未来を テクノロジーで創る



9月16日(水) 13:00-17:30

参加費無料

会場

ちより街テラス ちよテラホール

〒780-0806 高知県高知市知寄町2丁目1-37

オンラインでの参加も可

※モデレーター-高知県内企業はちよテラホールで登壇します

参加登録は
こちらから

高知県は、先進的な技術シーズを有するスタートアップ企業や研究者を県内に呼び込み、県内の事業者や起業家と協働することで、高知の豊かな自然環境を舞台とした独自性の高い実証実験プロジェクトを創出することを目指しています。本取り組みでは新しいビジネス分野に挑戦してみたい、興味があるという県内の事業者や起業家を支援します。その第一歩として、最先端のテクノロジーを活用してインパクトある事業を起こしたスタートアップを迎え、その知見やノウハウを学ぶフォーラムを開催します。新規事業に関心やアイデアはあるけど、何からはじめていいかわからない、という方もぜひご参加ください。

フォーラムに参加し、
一緒に新しいプロジェクトを始めましょう！

安定生産

栽培技術

商品価値

未利用資源 他

対象

新規事業展開に興味のある県内外企業・起業家 / 生産者 / 産業支援機関 / 高等教育機関 / 学生 / 市町村 他

お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください

プログラム <https://lne.st/kochi-hic-agri>



Session1

パネルディスカッション

稼ぐ農業に
必要な要素とは何か

Session2
アグリテック事例
現場への実装が進む
アグリテック



Session3

パネルディスカッション

地域資源が循環する
未利用資源を活用した
ビジネス



ShortSession1・2

スタートアップ・研究者によるピッチ

高知の企業と連携を期待するスタートアップ企業や研究者によるショートプレゼンテーションを実施！最新テクノロジーとの出会いのチャンスです！

13:00-

Open オープニング・キーノート

13:20-

Session1

パネルディスカッション

稼ぐ農業に必要な要素とは何か

農業現場においても安定生産や軽労化、自動化など課題解決を見据えてロボットやセンシングといった様々なテクノロジーが導入されています。しかし、これらのテクノロジーは、生産環境や人材によって必ずしも現場の課題解決や、収益化に繋がるとも限りません。本セッションでは、最先端の農業技術を導入されている株尾原農園に現場の課題を提示していただき、新規の栽培技術やロボット導入を手掛けるスタートアップ企業の視点をかけ合わせることで、テクノロジーの活用や人材育成を通してどのように現場の課題を解決し、稼ぐ農業にしていくのかについて議論します。

登壇者

株式会社尾原農園 代表取締役 尾原 由章 氏

Agri Blue 株式会社 代表取締役社長 梶山 博司 氏

AGRIST 株式会社 取締役 高橋 慶彦 氏

[モデレーター] 株式会社アグリノーム研究所 代表取締役社長 宮内 陽介



14:20-

Session2

アグリテック事例紹介

現場への実装が進むアグリテック

高知県は、長い日照時間を誇るものの、台風や雨がが多く高温多湿であるが故に、ワイン用ブドウ栽培は困難とされてきましたが、井上石灰工業株は、栽培技術を工夫し県内でワイン用ブドウ栽培を成功させています。本セッションでは、樹液流センサーや接木技術を活用してワイン用ブドウの高品質化を目指す Kisvin Science 株の西岡氏、衛星からのデータを活用して農地をセンシングする SAgri 株の坪井氏、井上石灰工業株の担当者を交えて、農業の現場にテクノロジーを導入することの有効性や、品質向上へのアプローチ等について、事例を交えて議論を行います。

登壇者

井上石灰工業株式会社 (登壇者調整中)

Kisvin Science 株式会社 (アグリショット株式会社) 西岡 一洋 氏

SAgri 株式会社 代表取締役 Global CEO 坪井 俊輔 氏

[モデレーター] 株式会社リバネス 研究開発事業部 宮内 陽介



15:20-

ShortSession1 スタートアップ企業・高知県内企業によるピッチ(3分×10社)

15:50-

Session3

パネルディスカッション

地域資源が循環する未利用資源を活用したビジネス

農作物の生産から加工のなかで様々な未利用資源が発生しています。これらはコスト面から利用されないままですが、テクノロジーや事業者が連携することによって資源となり新規のビジネスが生まれている事例もあります。本セッションでは、県内で未利用資源を抱える事業者と休耕田で多収量米を栽培し機能性のエタノールを作り出す株ファームステーションの酒井氏、ファームステーションと組んでリンゴの搾汁残渣からエタノールを作り商品化した東日本旅客鉄道株の担当者を交えて、未利用資源活用の可能性や商品価値の創り方等について議論します。

登壇者

高知県内企業 (登壇者調整中)

株式会社ファームステーション 代表 酒井 里奈 氏

東日本旅客鉄道株式会社 (登壇者調整中)

[モデレーター] 株式会社リバネス グループ CEO 丸 幸弘



16:50-

ShortSession2 スタートアップ企業・高知県内企業によるピッチ(3分×10社)

FAX・メールでもお申込みできます。以下ご記入の上お送りください。

氏名		電話	()
メール	@		
所属		役職	
参加方法	<input type="checkbox"/> 現地参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加		

— 申込み / 問合せ先 —

高知県 産業振興推進部 産学官民連携・起業推進課

TEL 088-823-9781

FAX 088-823-9772

Mail kigy@ken.pref.kochi.lg.jp

※いただいた個人情報は、本イベントに関する連絡および県の産業振興計画に関する情報提供にのみ使用いたします。